

「参加型授業通信 2016」について

「参加型授業通信 2016」は、主に本校副校長が、参加型授業を推進するため、校内の先生方に向けて発行しているものです。先生方に伝えたいことや参考にしてほしいポイント等、授業に関する話題を掲載しています。現在No. 25まで発行しました。概要は以下のとおりです。

No	発行日	概要
1	4/26	現代文の授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期にマッチした秀逸なテーマ（「自分の今年を象徴する漢字一字」） ・ 教諭の表情、受け答えによる安心感、信頼感、一体感の醸成 ・ 転入者との会話から、授業のアイディア
2	5/10	アプライド英語（学校設定科目）の授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1単位増の意味 ・ 冒頭に Agenda を示すメリット ・ ALTによる、楽しく能動的な英語の表現学習
3	5/13	地学基礎の授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ アカデミックな期待感を抱かせる授業 ・ 生徒自身が歩くことで、地球の大きさを求める ・ 予定範囲が終わらないときの、次時への効果的な動機付け
4	5/18	ソーシャルサイエンスリサーチ（学校設定科目）の授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災学習の意義 ・ クラス担任による導入に見られた様々な工夫 ・ 総合的な学習の時間と普段の授業に相乗効果
5	5/20	県教委が作成した「いわての授業づくり3つの視点」について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の見通し ・ 学習課題を解決するための学習活動 ・ 学習の振り返り
6	5/24	現代文Bの授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 班活動の前の、個人の創作活動 ・ 個人思考より長い時間設定の、協働的な学び ・ まとめの深い発問に創作を経たからこそ秀逸な解答
7	5/30	探究数学Ⅱ（学校設定科目）の授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 単なるパターン演習を超えた、数学教員としての熱い信念 ・ 学問の本質へ向かう愛情、惜しみなく ・ 思い出も沢山あり、熱く語ります
8	6/2	教育実習生の国語の授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入から参加型、見事な焦点化 ・ 主発問（個人→グループの際の支援） ・ 苦戦している多くの生徒を見て、軌道修正
9	6/8	地理の授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加型、ゲーグルアズ等魅力的な導入 ・ テーマ提示と驚きの展開（化学実験を盛り込み合教科型） ・ 振り返りもしっかりなされました
10	6/9	数学Bの授業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の授業を支える最初の10分間 ・ 同じ内容をあえて違うアプローチで！ ・ 数学の参加型授業は教えあい

11	6 / 20	<p>日本史Bの授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習の参加型。工夫してます ・ペア、ペア、ペア。ペア・ワークを軸にした展開 ・ペアワークについて（本校を訪問している大学の先生の論文から）
12	7 / 13	<p>授業評価アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い信憑性・信頼度 ・生徒からのメッセージと理解しよう ・学び続ける人を育てるためには、教員も学び続ける必要
13	8 / 19	<p>総合教育センター研修指導主事の化学の示範授業から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初対面の生徒との徹底した関係づくり、雰囲気づくり ・演示実験の意外な結果で、モチベーションを高める ・実験、観察をとおして学ぶ意義とは
14	9 / 1	<p>コミュニケーション英語Ⅰの授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オールイングリッシュの効果実感 ・予習をあえて課さない意義（英文を初見で理解する） ・アウトプットをできるだけ多く
15	9 / 5	<p>生物基礎の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果抜群、導入の10問クイズ ・常に生徒に正対し、全員参加を求める ・トークとチョークで勝負（ICTがなくても参加型）
16	9 / 16	<p>下橋中公開研究会における理科の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題と授業の流れを明確かつ巧みに提示 ・観察結果を踏まえ、個人が考えた後班で考察 ・2種類の振り返り（特にも学びのリフレクション）
17	9 / 21	<p>数学Ⅱの授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあては、答えを出すことでなく、なぜその答えになるかを説明すること。 ・どこでもシートの有効性 ・発表準備&他班偵察&修正&展示&投票&発表
18	9 / 30	<p>英語表現Ⅱの授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ディベートの指導 ・意味のある全員点呼（生徒観察の重要性） ・とても前向きな生徒たち、その理由は？
19	10 / 24	<p>全国学力テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県の中学3年生の状況 ・アクティブ・ラーニングとの関わり・
20	10 / 28	<p>サイエンスリサーチ（学校設定科目）の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインの前の効果的な助走 ・全員に眼が1個ずつ配られた ・現物を見て自分の手で解剖し構造を一つ一つ自ら確認していく学び
21	11 / 7	<p>盛岡市立高校授業研修会における数学Ⅱの授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え抜かれた導入（全員板書・教諭の指示を聞きながら図示） ・ヒントは言うが、正解を言わない ・「皆さんの力でここまで来ましたね」（生徒主役の授業）

22	11 / 16	<p>コミュニケーション英語 I の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mystery word (Warm-up が完璧) ・めりはりがあり、密度の濃い学び ・学ぶ集団づくりの視点で授業づくり
23	11 / 21	<p>来校した大学教員の倫理の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭く突っ込む、しっかり支援する ・最後、意外かつ大きな負荷 (考えを絵で描かせる) ・三高教員へのメッセージ
24	11 / 28	<p>保健の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行・発表・講評・評価、全て生徒が ・発表の実際 (体を張った実験、自虐的な導入で興味喚起等) ・高校生に真に必要な能動的な学び
25	11 / 30	<p>現代文の授業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク成功の鍵は？ ・班内協議、班間交流の工夫 ・まとめとして教諭がねらったこと